

Exhibition of Chamber Works by Tokuhide Niimi

# 新実徳英 作品個展 II

～室内楽を巡って～

ソナタ チェロとピアノのために [2010]  
Sonata for violoncello and piano (2010)

- チェロ: 堤 剛 cello: Tsuyoshi Tsutsumi
- ピアノ: 若林顕 piano: Akira Wakabayashi

ピアノ三重奏曲 ルクス・ソレムニス [2008]  
Piano trio - Lux Solemnis (2008)

- ヴァイオリン: 大谷康子 violin: Yasuko Otani
- チェロ: 刈田雅治 cello: Masaharu Kanda
- ピアノ: 若林顕 piano: Akira Wakabayashi

弦楽四重奏曲 第2番 Asura [2011]  
String quartet No.2 - Asura (2011)

- クワトロ・ピアチェーリ Quattro Piaceri  
(大谷康子、齋藤真知亜、百武由紀、刈田雅治)  
violin: Yasuko Otani, Machia Saito,  
viola: Yuki Hyakutake, cello: Masaharu Kanda

弦楽四重奏曲 第3番 [2013 / 新作・世界初演]  
String quartet No.3 (2013/new work・premiere)

- クワトロ・ピアチェーリ Quattro Piaceri

2013.

10/1 (火) 19:00

浜離宮朝日ホール

[中央区築地5-3-2 朝日新聞東京本社新館2F]  
都営大江戸線「築地市場」A2口 徒歩すぐ / 東京メトロ日比谷線「東銀座」6番口徒歩8分  
山手線「新橋駅」銀座口徒歩15分

- 入場料(全席自由):  
一般 4,000円 / 学生 2,000円
- お問合せ・チケット取り扱い:  
東京コンサーツ 03-3226-9755 <http://tokyo-concerts.co.jp>
- チケット取り扱い:  
東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650 <http://t-bunka.jp/>

- 主催: 新実徳英作品個展実行委員会
- 制作協力: (株) 東京コンサーツ



## 新実徳英作品個展Ⅱ ～室内楽を巡って～

前回(2011年9月)はヴァイオリンとピアノ。今回も弦楽器を中心としたプログラムで2008年以降の四作品をお届けします。以下は作曲時のモットーのようなもの。〈ソナター チェロとピアノのために〉(10)はソナタ形式への新たなアプローチ。〈ピアノ三重奏曲〉(08)は自らの「螺旋形式」に気付かされた作品。副題の「ルクス・ソレムニス」(荘厳の光)は華厳思想の影響による。〈弦楽四重奏曲第2番〉(11)は震災直後に完成した作品。悲しみと怒りが、副題のAsura(阿修羅)に集約されている。新作の〈弦楽四重奏曲第3番〉では生命の躍動=エラン・ヴィタールに向かう「衝動」を表出したいと考えている。

### 新実徳英 (にいみ・とくひで) 作曲家

名古屋生まれ。東京大学工学部卒業。東京芸術大学作曲科卒業。同大学院修了。1977年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールにてグランプリ並びにジュネーブ市賞を受賞。82年文化庁舞台芸術創作奨励賞並びに特別賞を受賞。83年ジュネーブ国際バレエ音楽作曲コンクールの審査委員を務める。84年度文化庁芸術祭優秀賞受賞。IMCに入選。2000年第18回中島健蔵音楽賞受賞。03年別宮賞受賞。04年「風神・雷神」のCDが文化庁芸術祭大賞を受賞。05年万博記念オペラ「白鳥」が名古屋において世界初演、この公演は佐川吉男音楽賞受賞。06年オーケストラ・アンサンブル金沢委嘱「協奏的交響曲～エラン・ヴィタール～」を世界初演、尾高賞受賞。管弦楽作品の多くは、国内ではNHK交響楽団を初め主要なオーケストラ、海外でもスイス・ロマン、オランダ放送、BBCスコティッシュ、フランス国立放送、ベルリン、ニュールンベルグ等のオーケストラにより演奏され、それぞれ高い評価を得ている。室内楽、邦楽、合唱、声楽曲も多数。11年4月～5月に作られた「つぶてソング」が全国で歌われつつある。現在、桐朋学園大学院大学教授。東京音楽大学客員教授。

撮影/近藤薫



### 堤 剛 (チェロ)

Tsuyoshi Tsutsumi, Violoncello

桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校音楽科を通じ齋藤秀雄に師事。1961年アメリカ・インディアナ大学に留学、ヤーノシュ・シュタルケルに師事。同年ミュンヘン国際コンクール第2位、カザルス国際コンクール第1位入賞。2009年秋の紫綬褒章を受章。また同年、天皇陛下御在位二十年記念式典にて御前演奏を行った。レコード録音における活躍も目ざましく、「バッハ:無伴奏チェロ組曲(全曲)」、演奏活動60周年記念盤「アンコール」、最新作「オリオン」(ともにマイスターミュージック)などいずれも高い評価を得ている。2001年より霧島国際音楽祭音楽監督。1988年秋より2006年春までインディアナ大学の教授を務め、2004年より2013年まで桐朋学園大学学長を務めた。07年9月、サントリーホール館長に就任。日本芸術院会員。

撮影/鍋島徳恭



### クワットロ・ピアチェーリ

Quattro Piaceri

日本のオーケストラや室内楽だけでなく、ソリスト等豊かな演奏経験を持つ、大谷康子(第1ヴァイオリン)、齋藤真知亜(第2ヴァイオリン)、百武由紀(ヴィオラ)、荻田雅治(チェロ)の4人による弦楽四重奏団。2005年に結成、翌06年3月デビューコンサートを行う。練り上げられたアンサンブルで高い評価を得、同年秋から「ショスタコーヴィチ・プロジェクト」と名付けた年2回の定期演奏会をスタートさせた。ショスタコーヴィチの全15曲の弦楽四重奏曲に取り組みむと同時に、ショスタコーヴィチ以外の海外の作曲家、日本人作曲家の作品を各1作紹介し、弦楽四重奏曲における現代作品のレパートリーの拡大と普及につとめている。2010年11月に開催した第9回定期演奏会で平成22年度第65回文化庁芸術祭大賞を受賞。

撮影/堀田正矩



### 若林 顕 (ピアノ)

Akira Wakabayashi, Piano

日本を代表するヴィルトゥオーソ・ピアニスト。17歳で日本音楽コンクール第2位。東京芸術大学で田村宏氏、ザルツブルク・モーツァルテウムとベルリン芸術大学院にてハンス・ライグラフ氏に師事。85年ブゾーニ国際ピアノコンクール第2位、87年エリザベート王妃国際コンクール第2位受賞。02年カーネギーホール/ワイル・リサイタル・ホールでのリサイタル・デビューを果たし、その後もフランスの「ラ・フォル・ジュルネ」音楽祭などで成功を収める。ベルリン響、サンクトペテルブルク響などにソリストとして招かれるほか、室内楽ではK.ライスター、ライブソビエ弦楽四重奏団と共演するなど幅広く活躍。92年出光音楽賞、98年モービル音楽賞奨励賞、04年ホテルオークラ音楽賞を受賞。現在、桐朋学園大学院大学教授、同大学特任教授、国立音楽大学招聘教授。

撮影/Wataru Nishida